

Hello! FUJISEI

No.99

老後は誰とどのように暮らす？

頼りにしているのは子どもなのですが

少子・高齢社会が現実のものとなっています。それにともない、介護問題がクローズアップされ、高齢者が高齢者を介護しなければならない状況を表した“老老介護”や“認認介護”などの言葉も使われるようになってきました。

若い頃に思い描いていたような老後生活とは大きく異なる状況となっているようです。

みなさんは、自分の老後は誰とど

のように暮らすのがよいと思っておられるでしょうか。

「平成23年度 国民生活に関する世論調査」によると、やはり頼りにするのは子どもたちのようで、約6割の人が子どもたちと同居あるいは近くに住むと答えています。

その内訳は、「息子（夫婦）と同居する」が13.7%、「息子（夫婦）の近くに住む」7.9%、「娘（夫婦）と同居する」6.0%、「娘（夫婦）の近くに住む」6.6%などでした。「子

どもたちとは別に暮らす」と答えた人は34.5%でした。

性別では、「息子（夫婦）と同居する」は男性で、「どの子（夫婦）でもよいから近くに住む」は女性で、それぞれ高くなっています。

年齢別に見ると、「息子（夫婦）と同居する」は70歳以上で、「どの子（夫婦）でもよいから近くに住む」は20歳代から40歳代で、「子どもたちとは別に暮らす」は50歳代、60歳代で、それぞれ高くなっています。

老後は誰とどのように暮らすのがよいか

内閣府「平成23年度 国民生活に関する世論調査」

